

es by site of action for weed resistance management strategies. Weed Tech. 11, 384-393.

- (10) 渡辺 泰(1997): 除草剤抵抗性, 浅田三津男ら編, 植物保護の探求-病害・虫害・雑草研究の立場から-, 日本植物防疫

協会, 91-110.

- (11) Weed Science Society of America(1998): "Herbicide Resistance" and "Herbicide Tolerance" defined. Weed Tech. 12: 789.

はなしのたね

白井光太郎氏の「雑草」

白井光太郎(1863-1932): 理学博士, 博物学, 植物学, 植物病理学など多方面で活躍。江戸時代からの本草学を継承し, 自身でも鳥頭(トリカブト)を長寿の薬として服用したが, 誤って死亡した。「雑草学: 半澤洵(1910)」より早く, 1906(明治39)年に書かれた白井光太郎氏の「雑草論」を同氏の論集「本草学論攷」より転載する。

雑草は俗に之を「だぐさ」と呼び有用植物栽培植物などより区別す。雑草の農耕を妨ぐる事の大なるは明白の事実にして, 除草の農業に必要なものは今尚ほ古の如し。雑草にも種々の別ありて, 其蕃殖力の迅速にして作物を害する事の著大なるものもあれば, 遅緩にして些細なるもあり。多少救荒其他の用途あるものもあれば全く有害にして無用なるもあり。宿根するもの, 越年するもの, 群生するもの, 散在するもの, 独立するもの, 寄生するもの, 蔓延するもの, 直上するもの, 球根を以て蕃殖するもの, 行茎を以て蔓延するもの, 珠芽塊茎の有無, 種子の大小, 播布の方法等に著しき相違あり。されば雑草駆除を完全に遂行せんと欲せば, 此等諸種の雑草に就き一々其形状, 名称, 蕃殖力, 発生時季等を調査し, 能く其性状に通じ然る後に除害の方法を講究せざる可らざるなり。「農業全書」に曰く, 「論へば草は主人のごとし。元より其所に在来のものなり。苗は客人の如く脇より入人なれば大かたの力を用ては悉くのぞきがたし。其上よきものは生立がたく悪きものは栄やすきは世の常なれば, 草の栄え五穀を害するは甚だすみやかなる物なり。昼夜此の理を弁へて鋤耘に油断すべからず云々」

雑草と作物の関係実前に記の如し。されど「よきものは生立がたく悪きものは栄えやすきは世の常なれば」とのみ言ひては, 雑草と作物との関係を説明するに聊か物足らぬ心地せらる。

抑も雑草の作物に打勝ちて能く蕃茂する所以のものは, 第一作物に比して強壯なるが故に, 比較的の不適切なる外部の成長要件に耐へて能く成長するを得るが爲にして, 雑草が最初作物の下陰に発生して遂に之を陰蔽するに至るは此が爲なり。第二雑草は概して伸長力の旺盛なるものなれば。同時に発生する場合にも作物を凌駕して之を圧倒するに至るなり。第三雑草の或物は矮小にして作物上に超出するに至らずと雖も, 旺んに地上に蕃衍して肥料を奪取し且つ地温の昇騰を妨げ以て作物を害するものとす。第四雑草の或物はは藤蔓を以て作物の体に攀縁し枝葉を纏絡して, 器械的に其成長を妨ぐるものとす。如此雑草の作物に及ぼす損害は種々なりと雖も, 植物病理学上の述語を以て之を約言すれば, 雑草は作物に対して直接に領処寄生をなし間接に物質寄生をなし, 以て其成長を妨ぐるものにして, 其損害の程度は草形の大小, 発生の時期, 蕃殖力の遅速等に関係するものなり。此他雑草は自己の体上に寄生病菌若くは寄生虫を舍どし, 病虫害の巢窟をなし, 之を四方に傳播せしむる事あれば疇草及荒蕪地に於けるも, 雑草は力めて之を芟除して以て病害を未然に妨がざる可らざるなり。雑草の作物に於ける関係夫れ此の如し。然れども天下豈絶対的に無用のものあらんや, 天竺の名医耆婆の如きは, 天下物類皆是靈藥万物の中一物として薬に非ざるものなしと喝破せる位なれば, 雑草と雖も, 向後利用の途を発見すれば忽ち良薬の部類となるものなり。されば田圃に発生する雑草を採り来て一其性質を考察するも亦実に趣味あるの業にして, 農耕種芸上に於て亦一日も忽にすべからずの事柄なりとす。(明治39年10月園芸の友第2巻第12号)

(森田通信より転載)